【平成24年度交通安全フォーラムポスター】

【政府インターネットテレビより】

じることが交通死亡事故の過半を占める高齢者の事故を減少させるために重要との指摘があり，引き続き有識者等を交えたパネルディスカッションでは特に高齢者の死亡事故の多くを占める夜間歩行中の事故を抑止するためにも歩行者等の反射材の着用が効果的であることを改めて確認するとともに，自ら着用したくなる反射材用品の開発等その効果的な普及方策について様々な視点から議論がなされ，提言を得た。

また，聴覚障害者向けに音声広報CDの作成や，政府インターネットテレビ番組において，「徳光＆木佐の知りたいニッポン！～みんなで減らそう高齢者の交通事故」を，前記鈴木春男教授を招いて制作し，高齢者の交通事故の現状・事故防止対策・身体的特質を紹介するとともに，安全に向けての対策，高齢者を取り巻く世代への注意を喚起するなどした。

高齢者に対する講習等について

警察においては，高齢者等の通行の安全と円滑を図るとともに，高齢運転者の増加に対応するため，信号灯器のLED化，道路標識の高輝度化等を推進している。また，バリアフリー法の重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路においては，道路横断時の安全を確保する機能を付加したバリアフリー対応型信号機等の整備を推進している（１編１部２章１節２）。

高齢運転者に対しては，更新時講習における高齢者学級や高齢者講習等において，高齢運転者の運転特性や交通事故の特徴等に応じた講習を行っている（１編１部２章３節２）。

また，関係機関・団体等と連携し，交通安全教育を受ける機会のなかった高齢者を中心に家庭訪問による個別指導等を行うとともに，高齢者に対する参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進している（１編１部２章２節１）。

【高齢運転者に対する実技講習】

（事例）

広島県警察では，自動車学校において教習用車両を用いた実技講習「高齢運転者ドック」を開催し，高齢運転者が運転する車両の助手席に警察官が同乗して，運転操作の問題点や注意すべきポイント等につい